

## 【兵庫県 宍粟市】

### 1人1台端末の利活用に係る計画

#### 1. 1人1台端末を始めとする ICT 環境によって実現を目指す学びの姿

個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させ、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善が求められている。

1人1台端末の活用により、子ども達が、主体的・対話的で深い学びにより基礎的・基本的な知識・技能を習得するとともに、さらに思考力・判断力・表現力を育み、学習調整により粘り強く課題に取り組む態度をより一層養いたい。

また、情報の正確性の判断、信頼できるコンテンツの判断など、情報モラル、情報活用能力の向上を推進する。

#### 2. GIGA 第 1 期の総括

本市では令和2年度に学習者用端末を1人1台となるよう整備を行った。

また、各校の基幹ネットワーク機器及び普通教室・特別支援学級・特別教室等における有線・無線 LAN 環境を整備し、学校内の大容量の通信ネットワークの構築を行った。

さらに、協働学習ソフトやドリルソフトを導入し、充実したデジタル教材を提供している。また、電子黒板の試験導入を行い、情報機器の拡充を予定している。

教職員の積極的な利活用により、毎年学習用端末及びデジタル教材の活用頻度が向上しており、学習用端末及びデジタル教材を有効に活用できたと言える。

課題としては、教職員間での利活用の差が発生しており、市内全体の底上げが必要である。

また、ネットワーク障害や、端末の故障等により学びが阻害されることがあるため、迅速な対応ができるように準備しておく必要があるとともに、老朽化した機器等は適宜適正に更新し、継続的に整備を行う必要があると考えている。

#### 3. 1人1台端末の利活用方策

GIGA 第 1 期において1人1台端末の整備を行い、現在では学習面において必要不可欠なものとなっている。

GIGA 第 2 期では機器の更新を端末整備・更新計画のとおり行い、1人1台端末の積極的活用をさらに推進し、「個別最適な学び・協働的な学びの充実」を図り、支援ツールやアプリの活用により個々の情報収集や情報整理に留まらず、グループや集団による意見交換等、協働学習のさらなる推進を目指す。

日常の授業で端末をより効果的に活用することはもちろんのこと、1人1台端末を利用したりモ

ート授業の実施や通訳アプリ、音声教材等の活用により、個々の家庭状況や学校教育になじめない児童生徒、日本語指導が必要な児童生徒及び障がいのある児童生徒等の学びの幅を広げ、学びの機会の保障や教育の機会均等を確保していく。

また、一人一人の教職員が ICT 活用の目的を理解し、ICT 活用指導力が向上するよう、デジタル教科書や授業支援ソフトなど、ICT 活用に関する研修等を行い教職員のスキルアップに繋げる。